



2024 年 9 月 30 日

株式会社紀伊乃国屋向け 「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の取組みについて

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2024 年 9 月 30 日（月）、株式会社紀伊乃国屋（代表取締役社長 蛭田 憲市）に対して、「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」を実行しましたのでお知らせします。

■ポジティブインパクトファイナンスについて

ポジティブインパクトファイナンスとは、「事業者さまの営業活動」が経済・環境・社会に与えるインパクト（ポジティブならびにネガティブな影響）を特定し、ネガティブな効果を緩和しながらポジティブな効果を増大させることで、SDG s の達成を目指す融資手法です。

融資検討時に実施する評価は、当行とグループ会社である株式会社ちばぎん総合研究所が共同で行い、事業者さまのKPI（目標）設定やその進捗管理を支援します。また、当行と株式会社ちばぎん総合研究所が共同して実施した評価について、株式会社日本格付研究所より第三者意見^{※1}を取得することで客観性を担保します。

なお、本制度のフレームワークが国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）^{※2}の公表する「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合していることについても、同様に株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しています。

■株式会社紀伊乃国屋について

株式会社紀伊乃国屋は、千葉県安房郡鋸南町、南房総市に8件の宿と1件のサウナカフェを運営している観光旅館業です。漁港の風情や潮騒を感じながらゆったりとした時間が過ごせる「ロケーション」、鮮度抜群の魚介類や旬の食材をふんだんに取り入れた「食事」、心も体も癒す「天然温泉^{※3}」など、当地でしか味わうことができないものを提供することにこだわり、「お客様満足度NO. 1の宿」を目指しています。

当行グループは、「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」をパーパスに掲げ、事業者さまのサステナビリティ経営および企業価値向上への貢献を目指すとともに、地域社会のパートナーとして、社会・環境課題の解決に資する取組みを一層推進し、地域に寄り添うエンゲージメントバンクグループを目指してまいります。

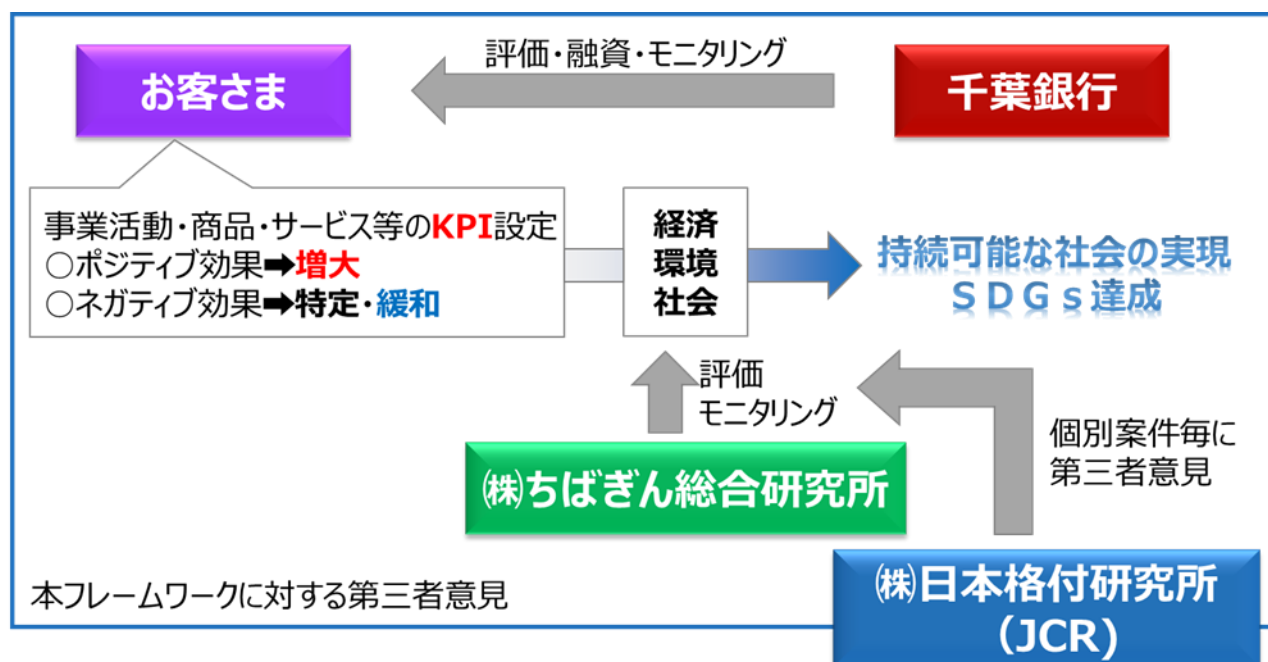
※1 ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性についての第三者意見
株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。 (<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>)

※2 国連の補助機関である国連環境計画（UNEP）と金融機関の自主的な協定に基づく組織。

※3 地下 600 m から湧出する天然温泉を自家源泉として所有。泉質は、天然アルカリ性単純泉。大浴場のみならず、貸切風呂や客室専用の露天風呂など、宿ごとに特徴ある風呂を備えています。

以 上

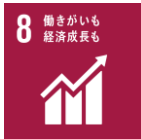
<スキーム図>



【ちばぎんポジティブインパクトファイナンスの商品概要】

融資対象者	事業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ効果を増大させ、ネガティブ効果を特定・緩和し、SDGsの達成に向けて活動する法人
資金使途	運転資金または設備資金（特定の資金使途に限定しません）
融資金額	100百万円以上
融資利率	当行所定利率
融資期間	原則、3年以上
K P I (目標)	SDGs達成に向け、経済・環境・社会に対する、以下についてK P Iを設定していただきます。 (1) 1つ以上の側面でプラスの貢献をすることが分かる指標 (2) 潜在的なマイナスの影響を特定し、緩和することが分かる指標

【株式会社紀伊乃国屋向け「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の概要】

貸 出 先	株式会社紀伊乃国屋		
契 約 締 結 日	2024 年 9 月 30 日 (月)		
融 資 形 態	証書貸付		
融 資 金 額 (使 途)	100 百万円 (運転資金)		
融 資 期 間	3 年		
評 価 内 容	領 域 (テーマ)	取組内容およびK P I (目標)	関連するSDG s
	社 会 (健康および安 全性、資源とサー ビスの入手可能 性・アクセス可 能性・手ごろ さ・品質、生計、 平等と正義)	・ 2027 年 5 月末までに、新たに 2 棟を稼働させる (旅館、サウナなど、事業の用に供する施設を対象とする) ・ 2027 年 5 月末までに、年間の利用者数 55,000 人を達成する 2021 年度 (2022 年 5 月期) から 2023 年度 (2024 年 5 月期) までにおける年間の平均利用者数は 48,994 人 ・ 2027 年 5 月末までに、健康診断の受診率を 70%以上とする ・ 融資期間中における労働災害の発生件数を 0 件とする ・ 2027 年 5 月末までに、外国人雇用者数を 95 名とする 2023 年度 (2024 年 5 月期) の外国人雇用者数は 80 名	    
	自 然 環 境 (サーキュラリ ティ)	・ アメニティ類の消費量について、2026 年度 (2027 年 5 月期) までに 2023 年度 (2024 年 5 月期) 比で 20%削減する (発注金額ベース)	
そ の 他	上記K P I については千葉銀行とちばぎん総合研究所が共同し、その進捗状況について年 1 回モニタリングを行うことで、融資実行後も貸出先の伴走支援を行ってまいります。		